

科目名称(Course Title)				担当教員 (Instructor)	
医療情報システム論				星 雅文	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2単位	2年次	講義	無	無
授業の概要 (Course Description)					
<p>本科目では、医療現場で発生するデータ・情報を、コンピュータにより効率的に管理・運用するシステムについて学習する。病院内の診療情報など多岐にわたる情報を、体系的にシステム化する取り組み、また診療業務の補助となる各部門システムについて、具体的な事例を参考にしながら理解を深める。講義はテキストを中心として、まずは医療における情報の取り扱いについて理解を深める。次にその情報を入力・処理する病院情報システムの概要について解説する。また、連携する病院内の各部門で使用されているシステムについて解説する。</p> <p>なお、前期の医療情報学、および本科目の講義内容を以って「医療情報基礎知識検定」の受験が可能となるため、11月中旬に開催される当該試験を受講者全員が受験するものとする。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医療情報技師の役割、及び医療情報の特徴について明確に説明できること。</li> <li>2) 病院内の情報連携を例にして病院情報システムの全体像や利点を全く知識のない人に解説できること。</li> <li>3) 医療情報技師と診療情報管理士の役割の違いについて説明できること。</li> </ol>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	オリエンテーション	「医療情報学」の復習			
第 2 回	医療情報システム	電子カルテ等、基幹病院情報システムについて			
第 3 回	医療情報システム	医療情報の広域利用、EHRについて			
第 4 回	医療情報の標準化	ICD-10準拠標準病名集・HL-7等標準化への取り組みについて			
第 5 回	情報セキュリティ	医療における情報の保護とセキュリティ			
第 6 回	医療情報の分類	医療情報の形態的分類と電子的保存について			
第 7 回	病院情報システム I	病院情報システムの発達史と将来展望について			
第 8 回	病院情報システム II	病院情報システムの機能的要件について			
第 9 回	オーダリングシステム I	オーダリングシステムの構成と主な機能について			
第 10 回	オーダリングシステム II	オーダリングシステムと各部門システムの関連について			
第 11 回	医事会計システム	医事会計システムと基幹システムの連携について			
第 12 回	電子カルテ関連システム	医師が操作するシステム（電子カルテ）と看護師が操作するシステム（看護支援システム）について			
第 13 回	薬剤・検査関連システム	処方・検査オーダー機能と部門システムとの情報連携			
第 14 回	入院関連システム	食事オーダー・栄養部門システム及び病床管理システム			
第 15 回	画像診断関連システム	診断画像オーダーと放射線部門システム・PACS			
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>本科目で学ぶのは、医療情報技師の資格取得を目指す場合に、最も難しいとされている分野である。医療現場をイメージする力が必要である。前期に学んだ「医療情報学」の復習と、予習としてテキストの該当範囲に一度目を通しておくこと。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期末試験 (70%)</li> <li>・ 医療情報基礎知識検定 (30%)</li> </ul>	<p>秀 : 各種医療情報システムの存在意義と機能について、<u>わかりやすく説明ができ、かつ、問題点を的確に指摘</u>できている。</p> <p>優 : 各種医療情報システムの存在意義と機能について、関連するキーワードを挙げ、<u>わかりやすく説明</u>することができている。</p> <p>良 : 各種医療情報システムの存在意義と機能について、関連するキーワードを挙げ、<u>それらについて述べる</u>ことができている。</p> <p>可 : 各種医療情報システムの存在意義と機能について、関連するキーワードの理解において、最低限の水準を満たしている。</p>
<p>テキスト (Textbook)</p>	<p>【書名】 医療情報 (第5版)                      【著者】 日本医療学会医療情報技師育成部会 医療情報システム編</p> <p>【出版社】 篠原出版新社                      【出版年】 2016年4月版</p>
<p>参考書・資料等 (Supplementary Reading)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 診療情報管理Ⅲ (第4章) : (社) 日本病院会</li> <li>・ 医療情報サブノート (第3版) : (一社) 日本医療情報学会</li> </ul>
<p>備考 (Other Information)</p>	<p>医療の専門科目は各回の講義内容が次の講義につながるが多いため、欠席により講義に付いていけなくなる恐れがある。事情によりやむなく欠席した場合は、後日必ず資料などを受け取り、講義出席者と同様の復習を行うなど、積極的に取り組んでいただきたい。</p>
<p>教員との連絡方法 (Contact With Instructor)</p>	<p>講義や会議、あるいは出張などにより研究室に不在であることが多いため、火急の際には下記の連絡手段を用いてアポを取ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Email : hoshi-masatake@fukuchiyama.ac.jp</li> <li>・ 携帯電話 : 090-1616-8855 (ショートメッセージ可)</li> </ul>